

# 平成26年度公益社団法人坂戸市シルバー 人材センター事業計画

## 1 基本方針

我が国の社会構造は、今までに経験したことのない人口減少社会、少子高齢化社会を迎えており、高齢者の果たす役割は益々重要性を増しております。

経済動向は、安倍政権によるアベノミクス政策等により、景気は緩やかな回復を続けているなどと言われておりますが、依然としてシルバー人材センターを取り巻く経済環境は、国庫補助金が縮減されたまま、長引く景気低迷の影響及び特に適正就業に関連した契約の見直し等による契約金額の減少など、非常に厳しく安易な予断が許されない状況であるとともに、消費税の増税も危惧しております。

こうした状況を乗り越えるためには、シルバーの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、より公益性の高い事業の展開と収支のバランスの取れた運営を行うとともに、就業及びボランティア活動等を通じ、地元の公益社団法人として地域社会と共生するシルバー人材センターを目指すことが肝要であります。

そのためには、会員がこれまで培ってきた知識・経験・技術等を生かせる仕事の開拓・確保と会員の増大が必要不可欠であり、今年度は中長期計画の最終年度を迎え、引き続き重点6項目を積極的に推進し、特に会員アンケートの集計結果を踏まえての事業展開、家事支援事業の更なる拡大、会員のスキルを生かした新規事業（市と連携した事業を含む）の開拓に努めるとともに、地域社会交流等の事業活動を実施し、魅力あるセンターづくりを目指します。

## 2 実施計画

### (1) 会員の増強及び就業の拡大・強化

ア 広報媒体を活用し、一般家庭、公共団体及び民間事業所等からの受注拡大と会員確保、会員の口コミによる仕事の開拓と会員の増大に努める。

イ 会員と定期的に連絡を図り就業意欲の向上に努め、就業率の向上を図る。

ウ アンケートの集計結果等を踏まえ、職種ごとの会員を募集・確保し、既存職種の拡大と新規職種の確立を図るとともに、市と連携した事業の拡大に努める。

エ 多くの会員が働けるようにローテーション就業を積極的に推進する。

オ 会員の知識技能の習得・向上を図り、就業機会の拡大に対応するため各種技能講習会（シニアワークプログラム事業を含む）を開催する。

- カ 就業機会の拡大・確保を目的に、独自事業及び派遣事業の検討を図る。
- キ 就業先事業所等の懇談会を開催し、事業のPR及び就業開拓並びにローテーション就業等の促進に努める。
- ク 事業所等のニーズや会員の希望を踏まえ、役職員と会員が一丸となり、就業機会の拡大・確保を図る。
- ケ 会員の就業機会の更なる拡大を図るため、地域社会の就業ニーズ等の把握を的確に行い、民間企業、地方自治体、個人（特に家事支援等事業）に対してPR活動及び就業機会の掘り起しを行う就業機会開拓推進員を配置する。
- コ 臨時的かつ短期的又は軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者のために、公益財団法人いきいき埼玉の実施事務所として、有料の職業紹介事業を実施する。

## (2) 普及啓発

- ア センターの広報紙等を通じてシルバー人材センターの事業内容をお知らせし、市民の理解を深める。
- イ PR用チラシ等を一般家庭、公共団体及び民間事業所等に配布し、事業の趣旨や活動状況をPRする。
- ウ シルバー人材センターの事業活動等について、各種イベント等へ参加し、センター事業のPRに努める。
- エ 仕事の受注拡大を図るため、引き続きホームページの内容の充実と有料広告等の活用について検討する。
- オ 家事支援事業の更なる拡大を目的に、定期的にPR用チラシを配布する。

## (3) 安全・適正就業の促進

- ア 安全就業のための講習会等を開催するとともに、地域班や職群班組織を通じて安全就業の啓もうに努める。
- イ 定期的に会員の就業場所への巡回を実施し、安全確認及び就業形態の把握をするとともに、「気をつけて」の一声運動を実施し、安全就業の周知徹底を図る。また、就業状況を把握し、適正な就業形態の確立と見直しを図る。
- ウ 就業の基準に関する要綱に基づき、ローテーション就業及び就業期限延長制度を推進し、公募による就業者選定制度の導入に向け、調査・検討を図る。
- エ 事故防止を図るため、事故原因の調査・検討及び安全就業基準の見直し等を図り、再発防止活動を促進する。
- オ 交通安全・自転車講習会等の開催及び見直し、シルバー・ドライバー・ドックの受講を積極的に勧め、交通安全と安全運転の再認識を図る。

る。

カ 会員に安全意識の高揚及び適正就業への理解と協力を得るため、シルバーだより等による普及啓発を積極的に推進する。

キ 会員の不測の事故に備え、引き続き団体傷害保険及び損害賠償責任保険に加入する。

#### (4) 運営体制の整備・充実

ア 理事会を定期的を開催し、適切な事業運営を図る。

イ 理事会ニュースをリーダーに配布し、センターの状況を共有化する。

ウ 公益社団法人移行後の役員賠償請求等の訴訟に備え、役員賠償責任保険に加入する。

エ 入会時にセンターの基本理念や会員としての自覚を啓発するとともに、地域社会に信頼されるセンターづくりに努める。

オ 会員の共働・共助を基本とした連帯意識を基に、効率的かつ合理的な事業運営を行い各種事業の効果を高める。

カ 新入会員を対象とした研修制度の見直しを図るとともに、フォローアップ研修会等を開催し、会員の資質の向上を図る。

キ 地域班や職群班の組織活動及び安全、適正就業委員会並びに各種専門部会等の連携活動を促進する。

ク 現経済情勢をふまえると長引く不況等により、収入減が見込まれるため、合理化と効率的執行を推進し、財源の確保及び経費の節約等に努めるとともに、会費等の見直しについて検討する。また、消費税の引き上げに伴い、税率の引き上げ分を適切に転嫁する。

ケ 中長期計画の最終年度を迎え、実施計画の推進を図るとともに、新たな中長期計画策定の準備をする。

コ 血圧測定器を常備し、積極的な測定を呼びかけるとともに、会員の健康維持増進に努めるほか、市等の健康診査を積極的に受診するよう促す。

サ 就業及びボランティア活動等を通じて、地域社会交流事業等を重点におき、地域社会と共生するシルバー人材センターを目指す。

シ シルバー農園において、市内の幼児等を対象にジャガイモ掘り等の地域世代間交流事業を促進する。

# 事業実施計画

## 1. センター

年月	事業の名称
平成26年 4月	・決算監査
5月	・第1回理事会 ・第2回理事会
6月	・定時総会 ・第3回理事会
7月	・第4回理事会
8月	・第5回理事会
9月	・第6回理事会
10月	・第7回理事会 ・定期監査 ・第1回就業先との懇談会 ・地域班地区役員会議
11月	・第8回理事会
12月	・第9回理事会 ・就業開拓 ・防犯ボランティア
平成27年 1月	・第10回理事会
2月	・第11回理事会 ・第2回就業先との懇談会 ・地区別事業報告会
3月	・第12回理事会

## 2. 委員会

年月	安全就業委員会	適正就業委員会	家事支援等事業推進委員会
平成26年 4月	・第1回安全就業委員会		・第1回委員会 ・第1回就業開拓
5月	・第1回就業現場巡回		・第1回研修会 ・第2回就業開拓
6月	・安全就業研修会	・第1回適正就業委員会	・第2回委員会 ・第2回研修会
7月	・第2回安全就業委員会 ・第2回就業現場巡回 ・安全就業強化月間(全国統一)		・第3回就業開拓 ・第3回研修会
8月	・第3回就業現場巡回 ・安全だより第13号発行		・第3回委員会
9月	・第3回安全就業委員会 ・自転車講習会	・第2回適正就業委員会 ・他市センター視察	
10月	・他市センター視察	・第1回就業先事業所との懇談会に参加 ・第3回適正就業委員会	・第4回委員会 ・第4回就業開拓
11月	・第4回安全就業委員会 ・第4回就業現場巡回 ・安全だより第14号発行	・第1回就業現場巡回	・第5回就業開拓
12月	・交通安全講習会	・第4回適正就業委員会	・第5回委員会 ・第6回就業開拓
平成27年 1月	・第5回安全就業委員会 ・第5回就業現場巡回 ・安全講習会	・第2回就業現場巡回	・第6回委員会 ・第7回就業開拓
2月	・安全だより第15号発行	・第2回就業先事業所との懇談会に参加	
3月	・第6回就業現場巡回	・第3回就業現場巡回 ・第5回適正就業委員会	・第7回委員会

### 3. 専 門 部 会

年月	総務部会	事業部会	広報部会
平成26年 4月	・第1回総務部会	・第1回事業部会	・第1回広報部会
5月	・第2回総務部会	・第1回就業開拓	・シルバーさかど第80号発行
6月	・定時総会の運営		
7月	・第3回総務部会	・第2回事業部会	・第2回広報部会
8月			・シルバーさかど第81号発行
9月		・植木剪定講習会 ・接遇講習会	
10月	・第4回総務部会 ・法律講座講演会	・第3回事業部会 ・第2回就業開拓	・第3回広報部会
11月		・第3回就業開拓	・シルバーさかど第82号発行
12月	・リーダー研修会	・シニアワークプログラム事業	
平成27年 1月		・第4回事業部会	・第4回広報部会
2月	・健康講演会	・清掃講習会	・シルバーさかど第83号発行
3月	・第5回総務部会 ・フォローアップ研修会	・第5回事業部会	・第5回広報部会